

# 当院でお亡くなりになられた患者様の診療情報を用いた

## 医学系研究に対するご協力をお願い

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報などを研究目的に提供されることを希望されないご遺族は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

『研究課題名:新型コロナウイルス感染症認知症患者死亡例の検討』

研究機関名:日産厚生会玉川病院, 研究責任者: 齋藤 和幸

### 【研究の意義・目的】

当院では、2020年2月に横浜市に着港した大型クルーズ船乗客の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、SARS-CoV2 鼻腔ぬぐい液 PCR 陽性患者の受け入れを行ってきました。約3年多くのCOVID-19罹患者に対して入院加療を行い、病棟の入院患者のクラスターの発生も幾度となく経験致しました。当院の高齢重症者のCOVID-19入院患者は少なく、死亡に至るケースも少なくありませんでした。認知症状を有すること自体で通常の治療が困難なケースも見られました。COVID-19発症認知症患者様の死亡例の入院時点での臨床的特徴及び入院後の経過を診療録（カルテ）から患者様の背景、病態、治療経過などを後方視的に検討することで問題点を抽出し、今後同様の認知症 COVID-19 患者様の入院治療介入の最善の方法を見出せることが期待されます。診療録には以下の内容が含まれます。

- 1) 患者背景: 年齢、性別、既往歴、認知症の病状
- 2) 入院に至るまでの臨床情報: 日常生活動作、病歴、診断日、発症後入院までの日数、発症・入院経路
- 3) 入院時臨床的特徴: 臨床症状、COVID-19 変異株の種類、重症度、検査結果
- 4) 入院後経過: 治療内容、認知症状の変化の有無、合併症、死亡までの日数、延命治療に対する対応

### 【研究対象および方法】

対象者: 2020年2月～2023年4月、当院において、COVID-19の診断で入院加療を行った認知症診断の患者様のうち当院で死亡した患者様。

方法: 診療録（カルテ）から抽出したデータを解析する。

調査期間: 当院倫理委員会承認後から2023年11月22日

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

本研究は文部科学省・厚生労働省が定める「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」（平成26年12月22日改正）に基づいて掲載しております。

【研究へのお問合せおよび担当者】 日産厚生会 玉川病院 職位・氏名: 脳神経内科 齋藤和幸  
電話: 03-3700-1151(代表)

備考. お亡くなりになられた患者様、ご遺族への新たな負担は一切ありません。